

こんにちは

日本共産党

横浜市議団です

米原子力空母ジョージ・ワシントン 来年8月横須賀に入港・配備

米海軍第5空母打撃群司令官は21日、米原子力空母ジョージ・ワシントンを2008年8月19日に神奈川県横須賀基地に入港させると発表しました。日米両政府は、通常型空母「キティホーク」の後継艦としてニミツ級原子力空母の2008年配備計画を明らかにしていました。

これに対して、日本共産党の小池潔県委員長、畠野君枝元参院議員、河野幸司県議らは22日、抗議声明を発表しました。

声明は、「平和と市民生活の安全を願う横須賀市民をはじめ、神奈川県民・首都圏住民の願いに挑戦するもの」として撤回を要求しました。米海軍が艦船の航海予定を1年も前に明らかにすることはきわめて異例として、「原子力空母を何が何でも横須賀に配備しようという姿勢のあらわれ」として厳しく批判しました。

また、「原子力空母の横須賀配備に反対し、核も基地も爆音もない平和で安全な神奈川県をつくるため奮闘する」などと表明

しました。

米海軍は、ホームページで、「原子力空母は安全」「原子力空母配備 安全性日本国民に保証」などと、盛んに安全性をアピールしています。しかし、その安全の根拠も保障も明らかではありません。

3000万人が生活する人口密集地の首都圏は、日本の政治・経済の中心でもあり、横須賀湾は1日千隻の船が出入りする超過密の東京湾の一角です。横浜市は横須賀市に隣接しています。日本の法律では、首都圏に原子力発電所は設置できません。

原子炉2基、艦載機80機を積みこんだ原子力空母が、核兵器積載疑惑をそのままに1年の半分以上も出入りし、滞在することはとうてい認められません。

在日米海軍司令部ホームページより



「敬老パスの負担増はしないで！」の みなさんの声を市にとどけましょう

市は、敬老特別乗車証(敬老パス)制度について、「みなさまの声をお寄せください！」というハガキ付のパンフレットの配付をはじめ、市民の意見を募集しています。

パンフレットは、区役所・老人福祉センターなどにあり、添付してあるハガキかEメールで、募集は10月17日までです。横浜市のホームページでもみることができます。

パンフレットが置いてあるところ

区役所広報相談係、老人福祉センター、地域ケアプラザ、地区センター、図書館、行政サービスセンター、地下鉄駅、バス営業所、サイドライン駅